

# 田原小だより

田原小 HP



第669号  
令和3年1月29日  
台東区立田原小学校  
校長 白井 正之

## 1人1台のタブレットパソコンがめざす教育

副校長 梶井 啓史

1月に田原小学校の児童一人一人に1台ずつのタブレットが整備されました。各教室にある充電保管庫に人数分のタブレットが保管され、必要な時に児童が使えるようになりました。今、各学級でそれを使っている授業が始まっていますが、児童は初めて手にする自分のタブレットに目を輝かせています。

なぜ1人1台のタブレットが必要なのでしょうか。3つの理由があります。

### ① ICT 機器を使いこなすスキルの習得

これからの世の中、AIがどんどん身近になります。そのためにはICT機器を文房具のように使いこなせるようにならなければなりません。こう書くと難しく感じますが、大人以上にパソコンやスマホを上手に扱う小学生もいます。小さいうちから慣れることで高いスキルを自然と身に付けることができます。

### ② 知識習得型から価値創造・課題解決型の授業スタイルへの転換

今まで教室には担任用のタブレット1台しかなく、デジタル教科書を使って教師がわかりやすく説明するなど、主に『理解させる』ために使われていました。これからは児童が自分のタブレットを使って『課題を解決』したり、自分の『考えを表現・交流』したりすることになります。

### ③ 様々な児童の実態に応じた学習支援の可能性

今回のタブレットの中には、『ラインズeライブラリー』という国・社・算・理・英のドリル教材が入っています。児童は自分の力に応じた問題に取り組むことができます。また、発言が苦手な児童が自分の考えをタブレット上で表し、自信をもって伝えるということもできます。

以上の3つがめざすところではありますが、まだ基本操作やID、パスワードの入力などに苦労している段階です。田原小学校では、遊び感覚で気軽にタブレットに触れる機会を多くして操作に慣れさせていこうと考えています。学習の様子を学校HPでお知らせしますのでご覧ください。

## 生活指導部より

生活指導部 高橋 浩之

2月の生活指導月目標は『体をきたえよう』です。多くの田原っ子たちは、外遊びのできる休み時間になると寒さに負けず校庭で元気に遊んでいます。体を動かすことで体力が高まると、病気にかかりにくくなり、かかっても治りやすくなります。運動にすすんで取り組むことで体をきたえ、寒い冬を元気に乗り切りたいと思います。

1月は『密にならないように気を付けよう』、『内遊び・5分休みは座って過ごそう』という週目標を立てて取り組みました。内遊びや5分休みの時に、どうしても密になってしまうことから、緊急事態宣言が出ている間は全学年で基本的に座って過ごすことにしました。新型コロナウイルス感染症の対策として苦渋の判断です。今後も無症状、無自覚で感染を広げてしまうという恐ろしさのある新型コロナウイルスと向き合い、安全に学校生活が送れるように配慮していきたいと思っております。ご理解ご協力をよろしくお願い致します。